



特 許 願



昭和50年2月20日

特許庁長官 齊藤英雄殿

1. 発明の名称 **絨毯のクリーニング装置**
2. 発明者
住所 特許出願人と同じ
氏名
3. 特許出願人
住所 静岡県富士市松岡166
氏名 海野博樹
4. 代理人 〒106
住所 東京都港区芝罘平町40番地 渡辺ビル2階
氏名 (7032) 井上士中 燭 孝 (外1名)
電話 東京591-1065
5. 添付書類の目録 50 020320

(1) 明細書	1 通
(2) 図面	1 通
(3) 願書副本	1 通
(4) 委任状	1 通
(5) 出願審査請求書	1 通

方式
審査



明 細 書

1. 発明の名称

絨毯のクリーニング装置

2. 特許請求の範囲

絨毯を起毛面を下向きにして搬送し下方より起毛面に向け洗滌水を噴射する構成とすると共に、洗滌水噴射部分に於いて絨毯裏面に接触して帯状体を走行せしめたことを特徴とする絨毯のクリーニング装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は起毛面を下向きにして搬送し下方より洗滌するようにした絨毯の洗滌装置に係り、洗滌水を下方より起毛面に向け噴射した場合に、洗滌水が起毛面に十分な水圧をもつて効果的に噴射されるようにし、以つて洗滌作用をより向上せんとし提供されたものである。

図面は本発明の一実施例を示しており、図示のように絨毯1は起毛面1aを下向きに搬送ロール2に支持されて矢印方向に搬送され、該絨毯下方には洗滌液を上向きに噴射し上記絨毯1の起毛面

① 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 51-96177

④公開日 昭51.(1976) 8.23

②特願昭 40-20320

②出願日 昭50.(1975) 2.20

審査請求 有 (全3頁)

庁内整理番号

6410 J4

⑤日本分類

B24A412.1

⑤ Int. Cl²

B08B 3/02

1aを下から洗滌する洗滌水ノズル3(他の洗滌液ノズルも含む)が走行方向に沿つて並設されており、該洗滌水ノズル3が配置される領域にはロール5, 6間に懸架されたフェルト帯等の帯状体4が上記絨毯1の裏面(防水面)に沿接して無端走行されており、前記搬送ロール2によつて搬送される絨毯1の裏面に常時重合された状態で走行される構成とする。又該絨毯1の懸架ロール5, 6にはロール7, 8が圧接されており、ロール5と6, 7と8によつて洗滌ノズル3の両側に於いてプレス脱水ロールを構成し各ロールは弾性のあるゴムロールで構成される。又第2図に示すように絨毯洗滌後のプレスロール8を多孔構造のサクシヨンロールとし、これを回収槽10を介して吸引ポンプ11等により吸引することによりロール8, 8にてプレスし、しかも吸引することによつて洗滌後の起毛部の含水を充分確実に脱水する。

而して、本発明は斯る装置を絨毯自動クリーニングラインの洗滌水使用部分に使用するか、又は

単独で絨毯クリーニング装置を構成するものであるが、本装置は既述の通り起毛面を下向きにして搬送し、下方より洗滌するようにしたので、洗滌水は起毛面に当つた後、裏面にしみ入らず直ちに汚れと共に下方に落下してしまうので洗滌効果が頗る良好であると共に、裏面（防水面）をひどくぬらさない利点がある。斯る利点に加え本発明は絨毯のシャワー等による洗滌部分に絨毯の裏面に重ね合わせてフェルト等の無端帯を接触走行せしめたので、下から起毛面に向け噴きつけられる洗滌水が水圧で絨毯裏面に向け噴き抜けず、起毛面に直接全水圧がかかつて洗滌され、洗滌効果を著るしく増大されると共に、防水裏面に水が通らないといった利点がある。従つて起毛部の汚れが集中して効果的に落とされると共に、余り含水されないで、乾燥が早い、絨毯の収縮が少ない等の効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す側面図、第2図は同他例を示す側面図である。

1…絨毯、1a…起毛面、2…搬送ロール、3…洗滌水ノズル、4…帯状体、5、6、7、8…プレスロール、8…サクシヨンロール。

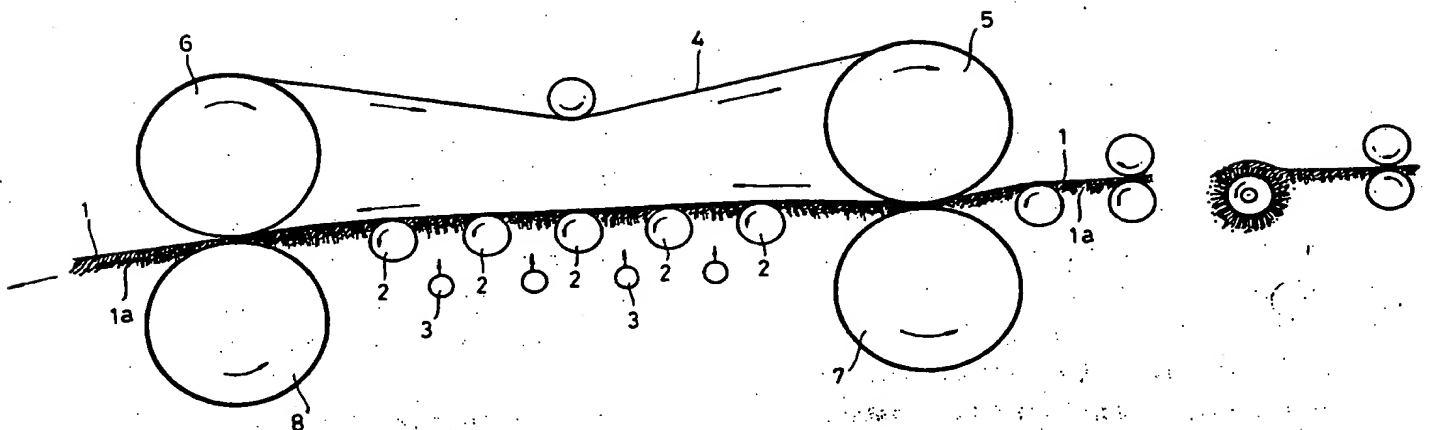
特許出願人 海野博明

代理人 弁理士 中畑 孝

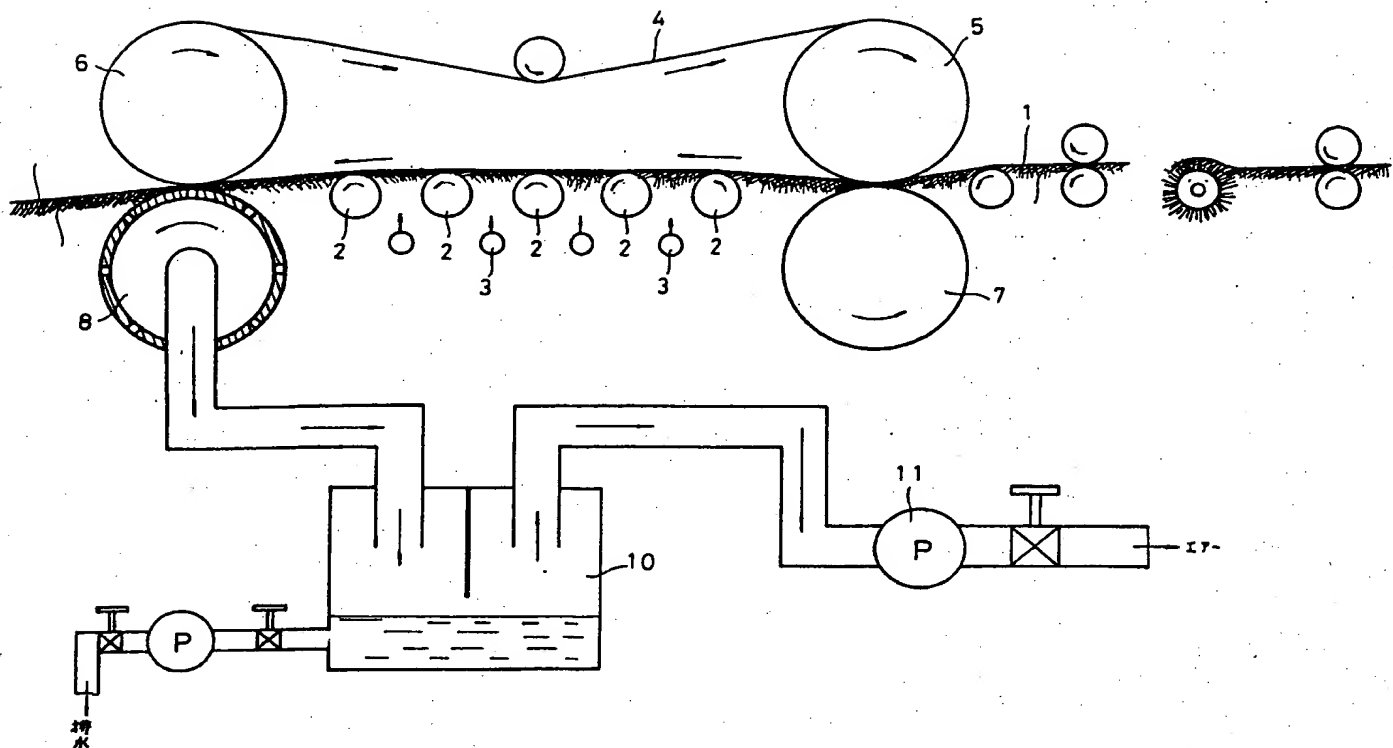
代理人 弁理士 市橋 俊一郎



第1図 (FIG. 1)



第2図 (FIG. 2)



6. 前記以外の代理人 〒105

住所 東京都港区芝罘平町40番地 渡辺ビル2階

氏名 (7773) 弁理士 市橋 俊一郎

電話 東京591-1065

